

No. 64

2006

6月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
木下 豊
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

歴史ある郷土芸能が
見事に受け継がれて行きます

萩山に春が

萩山神社の春の例祭に合わせて

盛大に発表会が行われました

獅子曳きの皆さん

四区

松王 林 尚仁君

一区

梅王 寺沢勇希君

二区

桜丸 手塚啓文君

浦安の舞姫の皆さん

一区

勝又育美さん

二区

上沼はる香さん

三区

松沢智美さん

四区

小島亜弓さん

五区

唐沢美代子さん

六区

竹内真友美さん

自治会役員の皆さんの肩車で安養寺へ挨拶に



無事に萩山神社への奉納を終え区民会館に全員集合です

区の情勢について

区長 木下 豊

▼地区計画による施工箇所等の確認

去る四月十六日(日)午前中、平成十八年度の地区計画による道路や水路の新設・改良や維持工事、また安全施設の設置など、本年度行う予定の施工箇所等の現地確認を行いました。

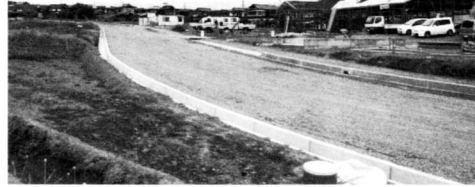
熊谷町長さんをはじめ町の担当職員と下市田区から区三役、土木委員、水利委員、地元町議が参加して、主なところを巡視した後、区民会館前駐車場で約一時間ほど懇談し、事業の進め方の説明や、意見・要望等が出されました。住民要望が多い中で町の予算は年々削減される現状から今後の地区計画による事業推進にも課題は多いと思われる。

▼一区北村地区の変貌

ご承知の方も多いと思いますが、国道153号線のAコープ北から左に入って一区北の原常会の住宅街のすぐ西側を北に向かって車道6m・歩道2m、延長約三百六十二mの素晴らしい道路が間もなく完成(五月末)しようとしております。また、その道路の東側に

沿って一区の集会施設が現在建設中ですが七月頃には竣工する予定です。

これらが完成するとこの一帯の様相は一変し、特に一区下段の集会施設を中心に新しい区民の拠り所として発展するものと期待されます。



▼区有地へ桜の植樹

下市田保育園の上(西側)の神社地の隣に区有地があります。そこにあった大きな松の木が松くい虫によって枯れてしまい、昨年秋季に伐採しました。

その時に周囲の木が傷んだり、その付近にある古い桜の木が老衰の状態になっているので、この一帯の雑木などを整理して桜の苗を

植えることにしました。

樹木の伐採や片付けにつきましては林務委員、代議員、氏子総代の皆さんのご協力により三月二十七日に

植え付けを完了しました。桜の品種は陽春五本・紅華(八重)五本で、この苗の確保につきましては三区の橋都正さんにご配慮いただきました。十年・二十年後を期待して育てたいと思っておりますのでご協力ください。

▼牧の内堤の漏水と新堤入水路の補修

牧の内堤が四月の時点で漏水しましたが水位を五十cmほど下げるることによって止まっているので、早急に改修できるよう町へお願いしたところ、県が対応してくれることになりました。また、新堤の入水路の補修については早速町で対応してくれて復旧しました。

▼松岡城址の火災

四月三十日午後四時半頃松岡城址の東南斜面から出火し、下草やマンダケなど凡そ八百㎡ほどが焼け、約一時間後に鎮火しました。原因は調査中とのことですが、この時期の山での焚き火やタバコの火などには、特に注意したいものです。

平成17年度 下市田区一般会計決算報告書

(自平成17年4月1日～至平成18年3月31日)

収入金計 40,137,427円 支出金計 33,501,445円 差引残高 6,635,982円

Ⅰ.【収入金の部】

項 目	予 算 額	決算収入額	比 較 増 減
1. 区 費	15,000,000	15,809,800	809,800
2. 繰 入 金	550,000	509,597	- 40,403
3. 町 支 出 金	6,000,000	4,455,912	- 1,544,088
4. 財 産 収 入	7,400,000	8,683,148	1,283,148
5. 地 元 負 担 金	350,000	174,890	- 175,110
6. 消 防 義 務 金	2,100,000	2,280,000	180,000
7. 諸 収 入 金	1,500,000	1,927,423	427,423
8. 前 期 繰 越 金	6,296,657	6,296,657	0
収入合計	39,196,657	40,137,427	940,770

Ⅱ.【支出金の部】

(単位 円)

項 目	予 算 額	決算支出額	比 較 増 減
1. 総 務 費	12,000,000	11,825,381	- 174,619
2. 環 境 衛 生 費	1,170,000	1,010,554	- 159,446
3. 林 務 費	900,000	730,491	- 169,509
4. 土 木 費	6,000,000	2,693,923	- 3,306,077
5. 水 利 費	2,500,000	2,334,759	- 165,241
6. 消 防 費	2,600,000	2,170,492	- 429,508
7. 公 民 館 費	3,000,000	3,000,000	0
8. 予 備 費	11,026,657	9,735,845	- 1,290,812
支出合計	39,196,657	33,501,445	- 5,695,212

平成17年度 高森町公民館下市田支館決算報告書

(自平成17年4月1日～至平成18年3月31日)

決算収入額 4,088,066円 決算支出額 3,351,686円 残 高 736,380円 (J A みなみ信州預金残高)

《収入の部》

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
繰 越 金	600,000	611,146	11,146
繰 入 金	3,000,000	3,000,000	0
補 助 金	450,000	455,900	5,900
雑 収 入	1,000	21,020	20,020
合 計	4,051,000	4,088,066	37,066

《支出の部》

△印減 (単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
総 務 費	1,990,000	1,770,410	△ 219,590
事 業 費	1,870,000	1,502,705	△ 367,295
広 報 費	20,000	4,331	△ 15,669
予 備 費	171,000	74,240	△ 96,760
合 計	4,051,000	3,351,686	△ 699,314

委員会活動報告

水利委員長 鈴木 木明博

日頃、用水路・排水路の清掃管理等水利事業につきましてご協力頂き、厚く御礼申し上げます。

水利委員長の任期も前半が無事終了し、後半になりました。今後とも区民の皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、より一層のご協力をお願い致します。

さて、活動内容ですが、大きな事業と致しましては、区民の皆様にもご協力いただいていた区内四ヶ所にある用水に必要な土手草刈り、土手焼きがあります。

日頃の活動としましては、各地区から上がった地区計画の用水路・排水路の工事確認・清掃管理等があります。

最近多くなったのが住宅の新築の増加にともない、道路の変化にともなう用水路・排水路確保のための、同意書に印鑑を押すことが増えて来ました。最近の農業情勢、社会情勢による農地転用に必要なのですが、時の水利委員が簡単に印鑑を押すべきものなのか、今後検討する必要があると思います。協議検討をお願いします。

いします。

これから梅雨の時期になり、水量も多くなり、より一層の用水路・排水路清掃管理等が必要になります。

地域全員で取り組み事が大事かと思えます。

今後水利事業に皆様のご理解とご協力をお願い致します。



二区の水路工事現場

十七年度決算の
監査委員所見

吉川 登

去る四月二十一日に平成十七年度下市田区一般会計、特別会計、公民館下市田支館会計、萩山神社一般会計、特別会計の年度末決算監査を実施いたしました。

各会計とも正確且つ適正に処理されており、また、代議員会議事録、各委員会の記録も適正に記録されておりました。

下市田区会計については町からの各種補助金が削減された一方、区有地の潰地

立木代収入があり、又、区費も前年度比一・六七%の増収となっております。

区費、消防義務金の徴収につき、役員の方々が大変なご苦労をされていると感じ敬意を表します。

下市田区の諸規程集の改正が代議員会での検討、承認の結果改訂されて備付けたこととは、時宜を得た取扱いであると感じました。

平成十八年度は、各会計の決算監査と併せて、区有地の巡視、各機関の備品、財産台帳と現物との照合を実施する予定です。

平成18年度 高森町公民館下市田支館事業計画

平成18年度 高森町公民館下市田各分館事業計画

月日(曜)	事業名	内容等	区	月日(曜)	事業名	内容等
6月1日(木)	* 区報・館報「萩の郷」64号発行	・編集会議 5/1・5/15・5/24・6/5	1	7月22日(土) 9月2日(土) 3日(日)	* ふれあい広場夏まつり * 展覧会 (新会館披露を兼ねて)	・交流会(盆踊り、夜店他) ・趣味の作品、子供土器作品展示 ・ふれあいサロン ・講演会 ・交流会(常会・クラブ毎芸能発表)
6月10日(土)	* 地元出身町議会議員との懇談会	・町議から議会活動報告 ・区民からの要望を元に懇談会	2	9月17日(日)	* 芸能祭	
7月29日(土)	* 萩の里まつり	・盆踊り(全員) ・子供花火大会(4区子供さんによる縄文の火起) ・演奏(和太鼓) ・演技(保育園児・各区) ・お楽しみコーナー(各区青年会)	3	6月4日(日) 7月15日(土) 10月8日(日) 19年 1月1日(月)	* ベタンク大会 * 納涼祭 * ふれあい運動会 * 元旦マレットゴルフ大会	・踊り、出店
10月14日(土)～15日(日)	* 文化祭り・敬老会	・作品展示 ・ぐるりウォーキング(史跡巡り) ・敬老会 ・講演会 ・舞台発表会	4	6月25日(日) 10月8日(日) 11月26日(日) 19年 1月8日(月)	* 多世代交流「ふれあい事業」 * ふれあい運動会 * 教育問題等懇談会 * どんど焼き	・高寿会・育成会分館交流事業 ・常会対抗運動会
11月1日(木)	* 区報・館報「萩の郷」65号発行	・編集会議 4回	5	8月6日(日) 10月9日(月) 19年 1月1日(月) 1月20日(土)	* 夏季スポーツ大会 * ふれあい広場 * 元旦マラソン * 冬季スポーツ大会	・ソフトボールと焼肉 ・ミニ運動会と演芸 ・マラソン大会(他地区からの参加も歓迎) ・老人クラブと子供達との交流
11月18日(土)～19日(日)	* 町ふるさと祭り テント村出店	・おしるこ無料サービス 2,300食を予定 (分館長・主事・各区女性ふるさと役員)	6	4月9日(日) 6月25日(日)	* 高齢者の集い * 敬老慰安・区展・文化祭	・高齢者の交流会 ・地域を築いてこれた先輩方を敬愛し長寿を祝う 5区活動グループによる ・ステージ発表、舞踏、民謡、ウクレレ、大正琴 ・昼食会 ・展示発表、絵画、陶芸、手芸、書道、茶道 ・グランドゴルフ・ベタンク大会
19年 2月1日(木)	* 区報・館報「萩の郷」66号発行	・編集会議 4回		9月10日(日) 19年 1月20日(土) 1月28日(日)	* スポーツ大会 * 独立世帯、アパートと自治会との懇談会 * 高齢者の集い	・交流を深め連帯意識を高める ・高齢者の交流会
3月24日(土)～25日(日)	* 萩山神社春祭り夕祭 本祭	・芸能保存発表会(獅子舞・曳等) ・囃子屋台の短冊依頼、飾付け ・囃子屋台引き子供(法被貸与、おやつ配布) ・写真撮影		5月21日(日) 8月18日(木)	* グランドゴルフ大会(公民館) * 夏祭り(自治会)	・親水公園にて各組、常会対抗のグランドゴルフ大会 ・大煙火大会、灯篭流し ・子供提灯行列、子供・大人神輿
随時	* 図書関係	・新刊図書購入(1月8日) ・図書の貸出と管理				

新しく選出された 地元議員の抱負

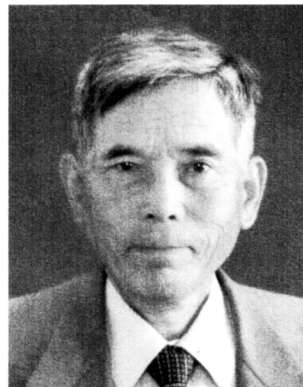
(50音順)



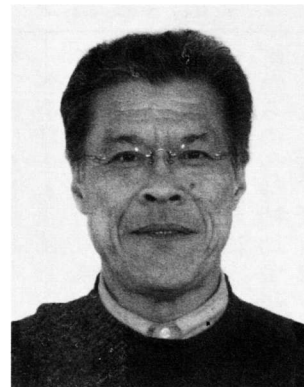
6 区
宮 外 正 彦



4 区
小 島 福 夫



1 区
久保田 昌 幸



3 区
上 沼 眞 守

町議会議員 として

上沼眞守

まず、昨年夏の二期目出馬にご理解とご支援を頂き、深く感謝を申し上げます。

議員としての務めは、町政に対し『是々非々』の立場で町民の代弁者として全うする事が責務と承知するもので、その上で我が下市田出身の新町長誕生は大いに期待すべきものであり、元同僚議員として区の発展論を交わした良い関係を維持しつつ、町民皆様が安心して暮らせる町づくりに全身全霊で当る所存でございます。

平成十八年度予算は自立を自覚した上での身の丈緊縮財政との認識は否めず審査も苦慮した訳ですが、現実をご理解頂く中で住民が自主的に参画されての、町民による町民の為の代表者として役割を果たしたいと思えます。最後に、『町と議会が車の両輪であるなら、町民皆様が主動力エンジンである』

安心安全の 町づくり

久保田昌幸

最近、国は三位一体改革ということで、地方交付税、補助金を減らしてきている。国の財政運営の失敗を地方に押しつける事は許せん。

前の町長の時期には、国の勧めもあって、借金しても欲しいものはどんな作れと、贅沢になれてしまったのではないかと心配です。これからは儉約に努めて、財政を切り詰めねばならなくなります。その時優先して守らねばならないことは、町民の安全と安心して暮らせるようにすることです。この事が自治体の守るべき第一の任務だと考えます。便利さや快適さは、あとまわしにしなければならぬでしょう。

改革を進める上で、この点に留意して、町民の理解と協力を得ながら進めることが一番大事だと思います。

新町議会議員 として思う事

小島福夫

一月の町議会議員補欠選挙においては、下市田区民の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

今一番危惧している問題は、戦後六十年の歳月を経た現在、物質の豊かさを求めすぎ、大事な道徳心を置き去りにしてしまっただけです。その軸となるのは家庭や地域教育にあると思います。また社会構造を揺るがす未曾有の少子高齢化、それによる年金・介護・医療問題は町行政、議会だけの問題ではなく、皆様と一緒に考え解決していかなければならないことです。財政面も非常に厳しい時代と認識していますが、福祉施設の検討委員会、営農支援センター、子育て支援センターの立ち上げも進んでまいりました。議員として日々努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

官から民へ

宮外正彦

一月の町長選挙により新町長が誕生して、町の雰囲気も変わって来ました。国の官から民へのスローガンのもと補助金等の財源が国から地方へ委譲するに伴い地方の裁量が増えてまいりました。それと共に首長・議員・町職員の責任も重大になって来ました。議員に求められるものとしていくつかありますが、その中で最大のものは行政の執行に寄与する事であります。最小の費用で最大の効果を上げる為に全ての事務事業、行政についてその目標と評価を明確にする事が早急の課題であり、住民の満足度の視点に立ちコスト削減に努めなければなりません。行政の執行権は首長にあります。議員として単にチェック機能を果たすことのみでなく首長に具体的に提案する事を常に念頭におきながら、低いといわれる地方議会の信頼度、期待度を回復する為に自己啓発に努めてまいります。

萩の里ふれあい広場

実行委員長 大原 光明

前日まで続いた肌寒い雨も上がり、晴天に恵まれた三月三日、招待者百十余名、下市田保育園児百十余名、実行委員八十余名とアトラクションの出場者を含め三百二十余名の参加を頂き「第十七回萩の里ふれあい広場」が、高森町社会福祉協議会と下市田区の共催により下市田区民会館を会場に盛大に開催されました。招待者の方々は今年から



開会行事に

は下市田区長さん、代議員会長さん、社会福祉協議会副会長さんの挨拶と、今年新しく町長になられました熊谷町長さんも見えられ挨拶を頂き、花を添えて頂きました。

開会行事の後、下市田保育園の園児によるステージ発表、歌とダンスにはその可愛い仕草に、お年寄りの皆さんは微笑み、中には涙ぐみ、目を赤くして拍手を送って見てくれていました。園児の皆さんは、おじいさん、おばあさんと向かい合っ

て座り、肩叩きをしたり、手を取り合ってふれあってまいりました。

【1. 歳入の部】		【2. 歳出の部】	
区 分	本年度予算額	区 分	本年度予算額
1. 区 費	15,000	1. 総 務 費	12,400
2. 繰 入 金	550	2. 環境衛生費	1,170
3. 町 支 出 金	5,000	3. 林 務 費	900
4. 財 産 収 入	1,200	4. 土 木 費	5,500
5. 地元負担金	300	5. 水 利 費	2,500
6. 消防義務金	2,100	6. 消 防 費	2,600
7. 諸 収 入 金	1,500	7. 公 民 館 費	3,000
8. 前期繰越金	6,500	8. 予 備 費	4,080
合 計	32,150	合 計	32,150

て座り、肩叩きをしたり、手を取り合ってふれあってまいりました。

閉会行事には、招待者を代表され中谷もと子さんが心のこもったすばらしい謝辞を述べられその挨拶に感激致しました。閉会の言葉を町会議員の久保田さん

歳入の部		歳出の部	
科 目	本年度予算額	科 目	本年度予算額
繰 越 金	600	総 務 費	2,310
繰 入 金	3,000	事 業 費	1,690
補 助 金	450	広 報 費	20
雑 収 入	1	予 備 費	31
合 計	4,051	合 計	4,051

平成18年度 高森町公民館下市田支館 歳入歳出予算書

(自平成18年4月1日～至平成19年3月31日)
平成18年3月16日可決

平成18年度 下市田区一般会計 歳入歳出予算書

(自平成18年4月1日～至平成19年3月31日)
平成18年3月16日可決

ようこそ下市田へ

六区 北原 鎮

下市田の皆様今日は、私達家族は御縁あって、飯田市松尾から出砂原地区に引越して参りました。

引越して来て、感じた事は何て静かな所だなと感じました。周りはいろいろな鳥の鳴き声、今までこんなに感じなかった気が致します。それで今まで居た所が、特に賑やかな所と言う訳ではないのですが、やはり静かですね。

こちらにお世話になり一年半程になります。来て地区の常会に入る早々に安協園にお世話になっております。良い先生方や多くの良いお友達に迎えられ毎日毎日が楽しみです。

通園しております。子供は馴染むのが早いです。私達も家の中にばかりいてはだめ。外に出て、観て、話をし、地域の方達と仲良くさせて頂きたいとおります。大変お世話になります。大変お話し致します。



ふれあいの中で育つ

一区 石原久子

三年ほど前から参加させて頂いている「まんぶくの会」の紹介をしたいと思えます。メンバーは男女を問わず、年令もさまざまで二十名程度です。子ども連れのお母さん、授産所で働く男性、娘さん等で人とかかわる事で「自立の道を歩みたい」そんな願いを持っている方々、とスタッフ数

最初は「さん」とびあ飯田の調理室です。やっている事は、お料理のこと。食べること。十時に集まり十二時には自分たちで作った料理をいただきます。楽しみは唯一それ!!

最初は「さん」とびあ飯田の調理室です。やっている事は、お料理のこと。食べること。十時に集まり十二時には自分たちで作った料理をいただきます。楽しみは唯一それ!!

随 想

千の歳より…

三区 串原喜代枝

政治家の先生方は、やれ少子化対策だ、高齢者の医療費云々と声高に吠える。諸悪の根源は、吾々高齢者にあるかに響くん。

第二次大戦まで国は「産めよ増やせよ」と、十人以上、子供のある家庭を表彰した。吾々は敗戦国の屈辱に耐え、子供たちに希望を託した。苦しい生活を共に忍び、たくましく育った。ところが進駐軍のお偉さまが「日本は子供が多すぎ

名です。場所は「さん」とびあ飯田の調理室です。やっている事は、お料理のこと。食べること。十時に集まり十二時には自分たちで作った料理をいただきます。楽しみは唯一それ!!

最初は「さん」とびあ飯田の調理室です。やっている事は、お料理のこと。食べること。十時に集まり十二時には自分たちで作った料理をいただきます。楽しみは唯一それ!!

最初は「さん」とびあ飯田の調理室です。やっている事は、お料理のこと。食べること。十時に集まり十二時には自分たちで作った料理をいただきます。楽しみは唯一それ!!

最初は「さん」とびあ飯田の調理室です。やっている事は、お料理のこと。食べること。十時に集まり十二時には自分たちで作った料理をいただきます。楽しみは唯一それ!!

最初は「さん」とびあ飯田の調理室です。やっている事は、お料理のこと。食べること。十時に集まり十二時には自分たちで作った料理をいただきます。楽しみは唯一それ!!



今や日本は世界に冠たる長寿国。今更慌てて見ても自分で蒔いた種な。それで、人間が子孫を育てることは時の政府に命令されることかなあ。子供を育てることに行政が、地域が、力一杯の手助けをする。それは大切なことだし、わしも大賛成な。昔から「千の歳より子は宝」って言う教えもあるでな。立派な郷土を築くにあ地域でみんな

わたしの作文

ぼくの作文



中学生LIFE

中一 松島京子(二区)

私は今年中学一年になりました。中学生になることに対して不安だったことは「部活」「友達」「勉強」。まずは部活。先ばいと付き合いか、すごい不安でした。でも、五月から仮入部

が始まりました。そしたら、先輩達、楽しいし、話が出てきて、北小の子とは、よくしゃべれるようになり、最後は勉強。中学は四点セットとかあるし、部活もあるので大変そうです。勉強は、これからもっと難しくなるし、量もふえると思います。だからこれから不安はあると思うけど、がんばりたい。まだ中学生になって一ヶ月半。部活も勉強も辛いかも、だけど頑張りたいです。

私のなりたいもの

小六 野神栞李(六区)

生から入った。やっています。

私のなりたいものは、いっぱいある。なにになろうか、とてもまよっている。私は、お母さんと同じ保姆さんになりたかった。でも、徹夜ばかりだし、お給料も少ないから、大変だ。次に私は、バレーボールがやりたい、小学校三年



に、コツをつかんで、とても面白い。背が低くて不利だけど選手になりたい。でもお給料とかなさそうだし、年をとったら続けられないことがいっぱい。もう一つは、犬や猫などのペットが大好きなのでペットのための店をひきたい。ペットも飼い主も、気楽に休めるきつ茶コーナーや、ペットの服や装飾品コーナー、預かり所を作りたい。飼い主さんとペットをかくんで、気楽にお話したいです。これなら、年をとって

正月のお節料理

お節と聞くと

正月の豪華な重詰め料理を思い浮かべる事でしょう。そもそもお節とは正月や五節句(正月七日

下市田の郷土史と民俗③

の人日・三月三日の上巳・五月五日の端午・七月七日の七夕・九月九日の重陽)の時に使う料理(節供料理)の事で、その食材には主として貯蔵品が多い。正月料理を「おせち」と言うのは、節供料理の意で、五節供の内でも最も馳走の多い新年の料理だけに「おせち」の名が残った。最もこうした行事は中国から伝承され、長く朝廷の行事であったものが、明

もできそう。でも、お家が広くないといけない。ペットが走る庭がないといけない。そのためにお金をためなきゃならぬ。でも、バレーボールもやりたい。どう

治初年に廃止された以後から民間行事として今のよう盛んになってきた。大型店での「おせち」の名は、料理の豪華さを客に与える為に、朝廷言葉を使用しているのか？

さて此処で使用されている品目と、それらに込められた願望を概記すると、
・白米 子孫繁栄多産・野老 長寿・搗ち栗 勝つ・昆布 立身出世・海老 長寿・豆 五穀豊作・里芋 子孫繁栄多産・数の子 子孫繁栄多産・干し柿 長寿・梅干し 長寿・ナマコ 豊作等。

以上それぞれの願望のみ記述致しましたが、一つだけその意味を書くと、海老

髭が伸び、腰が曲がっている所を老人に見立て、長寿への願いを表した料理品目。此の他に肴としては、いなだ・はまち・ぶりと成長するにつれ名前がかわる「ぶり」が用いられる家が多い。此のお節料理は家によって異なり、ごぼう、れんこん、にんじん、大根、豆腐、こんにゃく、板付きなどの縁起物も使われている。こうした料理は重詰めされ(三々四段重)正月三が日の食卓や客のもてなしに供されたが、主婦の水仕事からの開放の意味もあったと思われる。字数の関係で、与えられた表題の意味から遠のいた事をお詫びし、今回は元旦行事について。

(下市田史談会)



おせち料理



三段重のおせち料理

力行会 お好み演芸会



その切っ掛けは数か月前町のダンス教室から誘いがあって、三区の高寿会から八名人会することになった。ところが町の会員の方々はベテラン揃いで、その方々とは中々踊れるような状況ではなかった。困って相談した結果、幸い三区にもベテランの方々が数名おり、その方々に復習をお願いするという事でクラブを作る事になった。

団体名は初め下市田三区のダンスの会としたが、次のような目的でクイッククラブと命名し改めた。

一、社交ダンスの教習を会得する。

二、動作を早く習得する。

三、趣味と融和を目的とする。

会員は発足当時男性十名、女性五名、計十五名であったが、現在は男性十名、女性八名、計十八名になっている。

クラブ活動は月一、二回取っており、九時に始めて約二時間レッスン、その後一時間程お茶を飲みながら、活動の反省や世間話などである。楽しく融和を計っている。

ダンスの内容はチャチャチャ、ルンバなどのラテン、ブルース、ワルツなどのスタンダードの二部門である。クラブは発足以来四十回目を数えており、会の雰囲気はいつも非常に良く、指導して下さる方が分かり易く懇切丁寧に教えて下さるので、全員の方々がクイックの日を楽しみにしている。

以上は拙ない紹介で、実状を充分伝える事が出来なくて申し訳なく思っている。

グループ紹介

クイッククラブ

代表 原 輝人 (三区)

下市田三区 クイッククラブと命名し改めた。

クイッククラブが誕生したのは、三年程前の平成十五年九月一日であった。

地域の紹介

あさぎりの里二区

二区自治会長

倉沢 秀司

の協力が大
きく、納涼
祭、ふれあ

二区は天竜川に面した段丘地帯にあり、下市田河原の大半が地区内である事から人家のある場所と農耕地とほぼ二分されております。

戸数は常会加入者で百十七戸で近年大きな変更はありません。常会数は七常会十五組合で、下市田区内では小さい方と思っています。

自治会の事業は分館事業を中心に六月にベタンク大会、七月に納涼祭、十月に二区ふれあい運動会、一月には元旦マレットゴルフ大会に続いて自治会の新年会が行われ、毎年多くの方が参加をいただいております。

二区独特の事業として、毎月第二土曜日に高齢者を対象に「あさぎりサロン」を開催しております。これはお助けマンを中心に町内外のボランティアの皆さんに出演いただき有意義な半日を過ごしており、毎回三十人位が参加しており、喜ばれております。

二区は地区内の大きな行事には若者の仲間「共星会」



2区あさぎりサロンのひとと駒
(野口ヒロ子先生による健康わくわく教室)

常会加入は

みんなで考えよう

この問題は長いこと論議されてきたことであるが今日なお進んでいない。

下市田の世帯数は年々増加し一四〇〇世帯になろうとしているが、その中で常会加入世帯は約一一〇〇世帯ですから約三〇〇世帯が未加入です。

下市田区では本年二月の代議員会へこの問題を未加入者だけでなく区民みんなと考えようと提案しました。

基本的な考え方として下市田に住む者は身近な生活環境を守るために公平な負担が欠かせない。常会への

編集後記

『萩の郷』六十四号をお届けします。新緑の季節も過ぎようとし、早苗をゆらす風が、波紋となって水面を走っていくのなどを眺めました。身近な私たちの暮らしが、地球規模の動きと決別して離れたものではないことを考えると、町の行方のどこに、明るい希望の光を見つけていくかは、今ほど大切な時はないように思えてなりません。他人事とせず、私たちも共に手を取りあって、高森の明日を考えて行きたいものです。

加入、未加入による差があるのは地域の融和が損なわれる。従ってこのことをみんな考えてみようと言うこととです。例えば道づくりや井さらいなどの共同作業への出役の状況を見ると、常会加入者は当然のこととして出勤するが、未加入者が出勤しないのを不自然に思わない人が多い。この辺の考え方を改め、未加入者にはみんなと呼びかけて、自分達の身近な生活環境を共に守る努力をし、その協働から、常会加入の糸口を見出すことは如何か。

区長・木下 豊